

☆第6話☆

近年、合宿初日の昼食は「たらいうどん」に決まっています。これは今では各班の親睦と「最初の料理」として最も無難(天ぷらを揚げるくらいのものですから)ということですが、実は始めたのは1990年です。そう、忘れもしない、あの平安戦のあった42年ぶりの丸亀高校野球部の甲子園出場の年です。



甲子園に出場するという事は、生徒は応援に行かなければなりません。そうすると、合宿とぶつかるし、何より私たちだって応援に行きたい！何せ42年ぶりですから、「この次」は無いものと思いましたが。(その後2000年には春夏出場しています。)

そこで、3つの方法を取りました。合宿は当時も4期制でした。まず第1に、何と3期の日程を1日早めたのです。そうすることで、3期と4期の間を1日空けました。(その日に試合があったのです。勿論応援に行きました。)連絡を回して。それが可能であったということ自体恐ろしいことです。そうすると、2期の最終日と3期の初日の昼食が「ぶつかる」ことになります。当然食器などが足りません。



そこで、考え出したのです。「たらいうどん」を！「たらいうどん」なら割り箸と「つゆいれ」があれば何とかできます。ということで、始まったのです。さて、第2の方法です。きっと1回戦で負けると思っていたのが、勝ってしまいました。そうすると、まさに4期の合宿中に試合が入ることになります。4期は高1半分・高2半分・中3の選抜という編成でした。合宿所から高校の集合場所まで高校生を送迎することは決まったものの、中3をどうするかということになり・・・結局、ワゴン車3台に分乗して甲子園へ向かいました。

それが「雨中の」「平安戦」だったのです。(運転手は私と昨日のN君と高校部がなくて悔しい思いをした世代のH君)

高校生には「おむすびに塩こんぶ、つけものにソーセージ」という全員そろいの、しかも新聞紙でくるんだ弁当を持たせました。(聞くところによれば、少し人に笑われたけど、合宿中の全員が食べていることを思い、心強かったそうです。(笑))当時は校長先生始め、知り合いの先生方がたくさんいたので、チケットもいただき、中学生も高校生と一緒に応援です。

試合は、延長戦(0-0のまま)となり、雨まで降り出しました。しかもナイターです。そして・・・何と勝ってしまったのです(ベスト8)。問題は、それからでした。高速道路を飛ばして(暖房にしながらですよ)、先に合宿所に帰り着き、それから高校生を迎えに。たくさんの子は濡れて寒そうです。合宿所では、熱めのシャワーと食事を用意していました。全部真夜中の出来事です。

さて第3です。翌朝の起床は10時。しかも合宿最終日に試合ということになってしまいました。そこで、合宿を1日早めに切り上げたのです。その代わりに、「塾学習」を1日とることにしました。

準決勝の相手は天理(優勝校です)。試合前の練習を見た瞬間に、これは・・・と思いました。全く違うのです。体格から何から。(ちょっと安心もしましたが・・・)「たらいうどん」から随分発展してしまいました。



ただ付け加えておくと、このときの高2から中3にかけて、高1の学力テスト9連勝が達成されたのです。(未だに破られていない記録です。2年余り、学年トップを独占したのです。(3年間12回中11回トップということも素晴らしい。後の1回は2位!))

だから、「机の前で勉強する」だけが「勉強」ではないのです。雨の中、必死で応援する行為も「勉強への集中力」という点では貴重なことなのです。